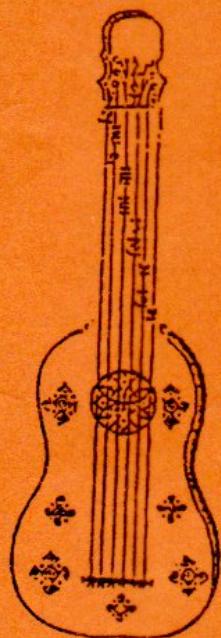
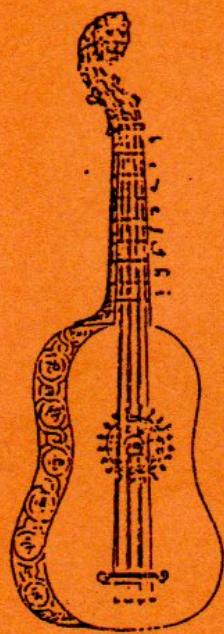


ギター二重奏の夕べ

比嘉進 渡久地政幸



とき 1988年1月15日（金）PM7:00

ところ 沖縄ジャンジャン

プログラム 第一部

1. ロッシニョール	作曲不詳
2. ドウルーリの調和	"
3. 嬉遊曲「はげまし」	F・ソル
4. 2声のインベンション 13番、8番	バッハ
5. ユモレスク	ドボルザーク
6. トルコ行進曲	モーツアルト

第2部

1. パバーヌIV（ミラン） パバーヌ（サンス）	
2. モーツアルトの魔笛による変奏曲	ソル
3. アルハンブラの思い出	タルレガ
4. セビリヤの思い出	ニーニョ・リカルド
5. 黒い瞳	ロシア民謡
6. コーヒールンバ	ホセ・マンソ
7. メヌエット	ビゼー
8. 小フーガ	バッハ
9. 二重奏曲ト長調	カルリ

第一部 曲目解説

1. この曲の題名はナインチングールという意味があり鳥の鳴き声を模倣した箇所が見られます。
2. この曲もジェイン・ピカリングのリコート曲集の中の二重奏で二曲ともルネッサンスの素朴な響きに満ち溢れています。

第二部 曲目解説

1. ミランはルネッサンス サンスはバロックの作曲家です。パバーヌというのは、スペインを起源とする舞曲で当時の器楽曲はこういった舞曲の名のついたのが多く見られます。
2. モーツアルトの歌劇「魔笛」の中のメロディーをテーマとして序奏と五つの変奏からできています。ソルの曲の中でももっとも有名で、曲も素晴らしいものです。
3. 近代ギター音楽の頂点を築いたタルレガは、古都グラナダに名高いモーグ人の遺跡アルハン布拉宮殿を訪ね、その感銘からこの名曲を作ったといわれています。
4. 作曲者のニーニョ・リカルド（1904—1972）は偉大なフラメンコギタリストで、フラメンコを志す者は彼の暖かい音楽を愛する人は多い、この曲は特にフラメンコ形式にとらわれないファンタシア（幻想曲）です。
5. バッハはオルガンのための独立したフーガを数曲書いたがこれもその中の一曲で、殊にこのフーガは、主題が流れるように美しいので、昔から良く親しまれている。この曲が「小フーガ」といわれるるのは、同じ調によるフーガやト短調の大きなフーガと区別するためである。

ごあいさつ

私達は、中学・高校と共に過ごした仲ですが、比嘉は中学の頃より私は高校からギターを習い、普天間高校時代には、ギタークラブを発足させるなどなつかしい思い出があります。

比嘉は現在高校の教員をしながら、私は喫茶アランフェス・スナックセレナーデを経営しつつ、ギターの勉強を続けております、お互いが好きな音楽（ギター）をもちより、本日ここに発表の場がもてたということは、本当に幸せなことだと思います。

お忙しい中を、わざわざ会場まで足をお運び下さった、お客様一人一人の誠意を大切に、これからも頑張りたいと思います。

このコンサートにご協力下さいました、各報道関係の方々、各ギター教室の先生方・チケットを心よくお預かり下さった方々に心よりの感謝を申し上げます。

現在私達はギターデュオ（二重奏）で活動しておりますが、将来は三重奏四重奏とメンバーを増やしたいと思っています。

共に勉強なさりたい方のお電話をお待ちしています。

連絡先 09893-2-5983 アランフェス

渡 久 地

比 嘉